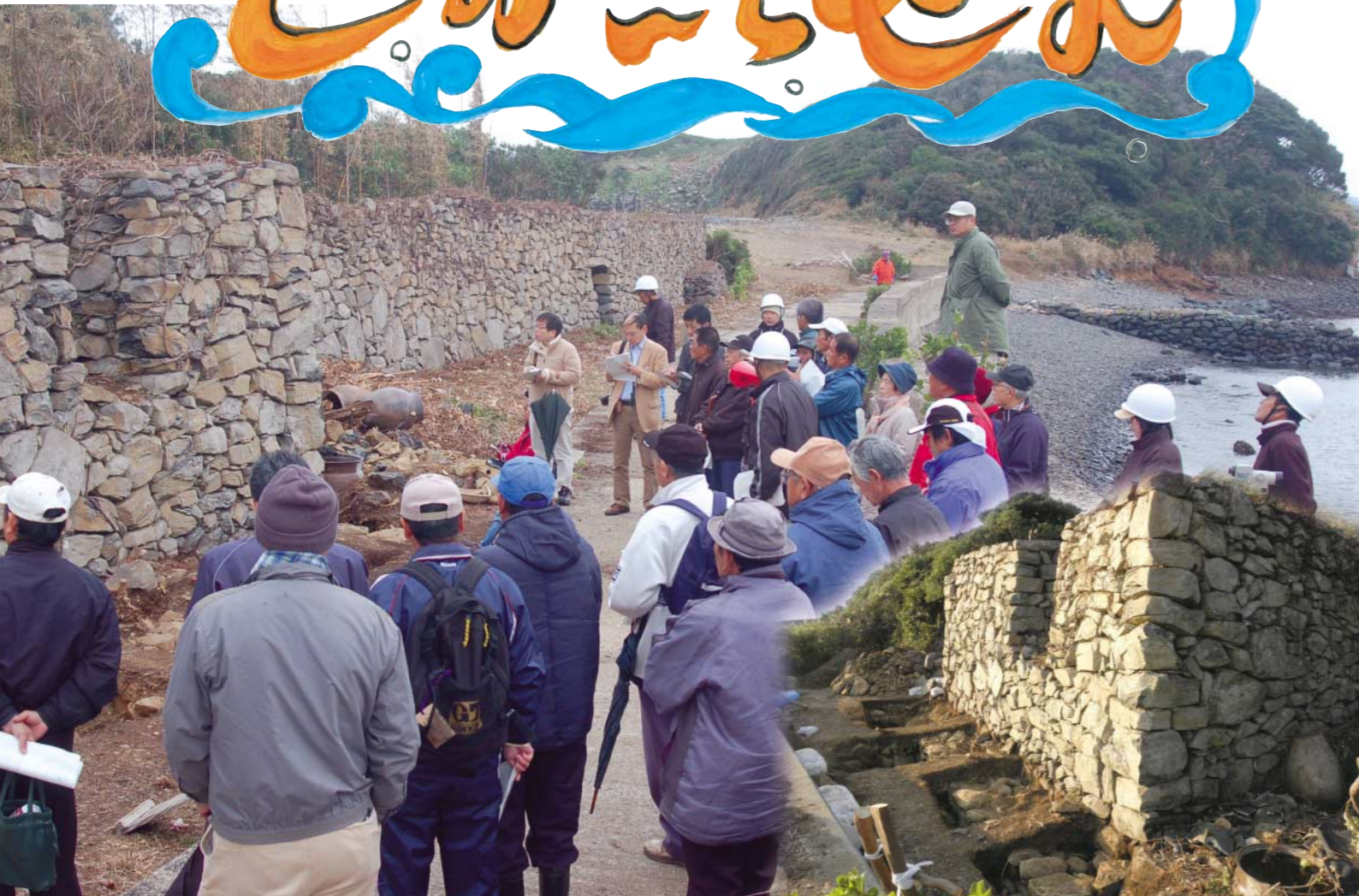




# 平戸市議会だより

# とかいせん



### ▲【横島の発掘調査】

田平町の釜田地区沖に浮かぶ横島で発掘調査が行われました。今は無人島のこの島に、17世紀前半頃（江戸時代のはじめ頃）オランダ商館の付属施設があったとの記録が残っています。今回の調査では、護岸石垣や整地の跡など、その付属施設に関係すると思われる遺構が検出されました。今後の調査が楽しみです。

## 第20号

平成22年2月1日発行  
12月定例会報告

## 緊張みなぎる 12月定例会！

12月定例会で審議された案件と結果	2
12月定例会 ここに注目！	3
委員会活動報告！	
総務常任委員会	4
産業建設常任委員会	4
文教厚生常任委員会	5

### 市政を問う！11名の議員が一般質問に登壇

浦 莊蔵議員、宮本 利男議員	6
近藤 芳人議員、川上 茂次議員	7
山崎 一洋議員、小川 隆友議員	8
山田 能新議員、田島 輝美議員	9
川淵 洋海議員、松崎 義昭議員	10
大久保堅太議員	11

### 議会傍聴に来ませんか！

トピックス！

シリーズ ふるさと宝さがし  
ひびき

contents

シリーズ  
ふるさと

## 宝

さがし

田平編

【取材：松崎義昭委員】

### 県指定天然記念物 「海寺跡の白木蓮」

田平地区には、長崎県指定の天然記念物「白木蓮」があり、野田区熊野

神社境内にあり、例年3月から4月にかけて、菜の花に先立って白色の大型



▲海寺跡の白木蓮

の花を咲かせ、花弁は6枚肉質で香りがあり、地元の方や観光客を楽しませていきます。樹齢千年余りで、海寺縁起によると、皇紀62代村上天皇の御代天曆11年丁巳年4月8日の夜、松浦の総司源完公の夢枕に熊野権現様

が御立ちになり、熊野権現と当山の縁起を全部お話になったとのこと。その時、権現様が御手に白木蓮の御花をお持ちになつておりましたので、完公は当山に来て見ると、白木蓮の花が満開であつたといい伝えられています。

天曆11年は西暦957年で、平成22年よりさかのぼると1千53年前となります。白木蓮は、中国の原産でもくれん科の落葉亜喬木です。所有者の武野恵美さんの管理の下、今も春に向けて厳しい寒さに耐えています。

ひびき

議会広報紙「とかいせん」編集のメンバーも昨年10月におこなわれた市議会議員選挙により、新たな構成員となりました。通常、議員の任期は1期4年ですが、各常任委員会（総務・産業建設・文教厚生）も含め、申し合わせにより2年で交代をしています。

この議会広報特別委員会も同様に2年間の任期で、これまで以上に市民の皆さまに分かりやすく、また議会活動に興味を持っていただけるよう努めていく所存です。黒田市政の誕生により、そのマニフェストであった市長公室が設置され、市民の声が速やかに行政に反映できる体制が整えられるでしょう。

「議会と行政は車の両輪である」とよく言われます。行政と連携し「真に市民の幸福実現」のための議会広報に努めてまいりますので、市民の皆様のご意見を賜りますようお願いを申し上げます。

（福田 洋委員）

平成21年度12月 一般会計補正額 1億5,148万4千円



## どんな補正があるの？

**ごみ減量化推進事業**  
240万円



生ごみ処理機購入が進んだため、80機分の追加。

**有害鳥獣被害防止対策事業**  
550万円



イノシシ捕獲が当初予定より1,100頭増の見込みとなったため。(1頭5,000円の報奨金)

**漁港施設災害普及事業**  
2,501万円



11月11日、12日冬季波浪により市営主師漁港の石積防波堤が延長24.8mにわたって被災したため。

## 12月可決された主な議案

### ●議案第122号「平戸市課設置条例の一部改正について」

平成22年1月から行政組織及び所管業務の見直しに伴い、条例の一部改正を行った。これにより行革管理課が廃止され、「市長公室」が誕生した。

#### ●市長公室の主な仕事

- (1) 秘書に関すること。
- (2) 広報及び広聴に関すること。
- (3) 重要施策の特命事項に関すること。
- (4) 重要施策の総合調整及び推進に関すること。
- (5) 行政組織及び行政改革に関すること。
- (6) 地域審議会及び地域自治区の総合調整に関すること。

### ●議案第125号「平戸市火入れに関する条例の一部改正について」

全国で野焼き事故が相次いだことから、火入れ実施地域の状況把握等の審査時間を確保するために、条例の一部改正を行った。

#### ●主な改正点

火入れを行おうとする期間の開始する日の10日前までに、申請書2通に関係書類を添え、市長に提出。⇒「14日前までに、申請書1通」になった。

### ●議案第130号「平戸市ふれあいセンター条例の一部改正について」

平成14年から供用開始している平戸市ふれあいセンターの浴室について、料金改定と運用時間の見直しによって、収支の改善を図ることを目的に、条例の一部改正を行った。

#### ●平成22年4月1日からの変更点

	区 分	現 在	改定後
入浴料金	大人	200円/回	300円/回
	65歳以上の大人、小・中学生	100円/回	150円/回
回数券料金	大人	2,000円/冊	3,000円/冊
	65歳以上の大人、小・中学生	1,000円/冊	1,500円/冊
開館時間		午前11時から 午後9時まで	午後2時から 午後9時まで

## 平成21年12月平戸市議会定例会会期日程

月日	曜日	種別	内 容	備 考
12月7日	月	本会議	議案説明	
8日	火	休 会	(議案研究)	
9日	水	本会議	一般質問	
10日	木	本会議	一般質問	
11日	金	本会議	一般質問、議案質疑	
14日	月	委員会	付託案件審査(産建・文教)	P4、P5に掲載
15日	火	委員会	付託案件審査(総務)	
16日	水	休 会	(議事整理日)	
17日	木	休 会	(議事整理日)	
18日	金	本会議	議案審議、閉会	

※総務…総務常任委員会 産建…産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会  
※土日は省略

平成21年12月定例会が12月7日から18日までの12日間の日程で開かれました。

平成21年度一般会計補正予算案など議案36件、議員提出議案2件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

## 12月定例会で審議された案件と結果

議案番号	件 名	結 果
121	平戸市人権教育・啓発基本計画策定委員会条例の制定について	原案可決
122	平戸市課設置条例の一部改正について	〃
123	平戸市税条例の一部改正について	〃
124	平戸市都市計画税条例の一部改正について	〃
125	平戸市火入れに関する条例の一部改正について	〃
126	平戸市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃
127	平戸市立学校設置条例の一部改正について	〃
128	平戸市教職員住宅条例の一部改正について	〃
129	平戸市立学校施設の開放に関する条例の一部改正について	〃
130	平戸市ふれあいセンター条例の一部改正について	〃
131	平成21年度平戸市一般会計補正予算(第9号)	〃
132	平成21年度平戸市給与管理特別会計補正予算(第1号)	〃
133	平成21年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃
134	平成21年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃
135	平成21年度平戸市水道事業会計補正予算(第3号)	〃
136	平成21年度平戸市病院事業会計補正予算(第3号)	〃
137	指定管理者の指定について(平戸市度島漁港フェリーターミナル)	〃
138	指定管理者の指定について(平戸市前津吉インフォメーション)	〃
139	指定管理者の指定について(平戸市紙漣の里ふれあい施設)	〃
140	指定管理者の指定について(平戸市多目的集会施設)	〃
141	指定管理者の指定について(山田地区活性化センター)	〃
142	指定管理者の指定について(堺目地区活性化センター)	〃
143	指定管理者の指定について(大島地区活性化センター)	〃
144	指定管理者の指定について(平戸市農林水産物集出荷貯蔵施設)	〃
145	指定管理者の指定について(田平町南地区交流センター)	〃
146	指定管理者の指定について(田平町東地区交流センター)	〃
147	指定管理者の指定について(平戸市中野ふれあい会館)	〃
148	指定管理者の指定について(平戸市中津良ふれあい会館)	〃
149	指定管理者の指定について(平戸市獅子ふれあい会館)	〃
150	指定管理者の指定について(平戸市志々伎ふれあい会館)	〃
151	指定管理者の指定について(平戸市田助ハイヤ節伝承館)	〃
152	道路の路線廃止について	〃
153	道路の路線認定について	〃
154	公有水面埋立免許出願に係る意見について	〃
155	松浦地区火葬場組合を組織する地方公共団体の数の減少とこれに伴う規約の変更について	〃
156	工事請負契約の締結について	〃
議案議番号	件 名	結 果
5	平戸市議会議員の選挙区に関する条例の廃止について	原案可決
6	平戸市議会委員会条例の一部改正について	〃

# 総務常任委員会

委員会開催日 12月15日  
(文責・近藤芳人委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は、議案7件で、審査の結果、いずれも原案可決しました。

ここでは特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

【一】は所管課名  
**機能する市長公室の構築を！**

市長の選挙公約の1つである市長公室の設置に伴う条例改正案が提案され、委員会としては、市長の意向するところを十分汲み取りながら、調整機能を遺憾なく発揮されることをお願いした。なお、組織機構の見直しの中で部制を視野に入れた考えもあるが、本市のような人口規模で部制を敷くことが果たして妥当なのか懸念する意見もあっている。その点は慎重に検討するよう要請した。

### 【行革管理課】

**市民の利便性の向上と収納率アップに向け、さらなる努力を！**

従来市税等の納付についてゆうちよ銀行でできなかったものが収納担当課等の努力により実現できたことに伴う、システム改修費が計上された。今後とも市民の利便性の向上と収納率アップのためさらなる努力を要望した。

### 【企画課】

**危機管理能力を高めるため積極的な対応を！**

大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃等対処に時間的余裕がない事態に対し、情報を国から住民まで直接瞬時に伝達することにより、被害を最小限度にとどめるため全国瞬時警報システム事業を実施するものであるが、現在、本市

において、防災行政無線施設整備を平成24年度完成に向けて事業が推進されているが、全国瞬時警報システムは防災行政無線を活用する構成となっているため、危機管理能力を高める上からも期間内完成に向け担当課の積極的な対応をお願いした。

### 【総務課】

**文化センター利用者に配慮した改修工事を！**

平戸文化センターの舞台照明施設等の改修工事にあたり、休館日等も活用しながら工事を行うなど、できるだけ市民のサービスが低下しない配慮を要望した。

### 【企画課】



▲改修される照明施設

# 産業建設常任委員会

委員会開催日 12月14日  
(文責・平石博徳委員長)

**鮮度保持と効率化が図れる！**

今回、本委員会に付託を受けました案件は、議案15件で、審査の結果、いずれも原案可決しました。

ここでは特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

【一】は所管課名  
**火災予防のために！**

「平戸市火入れに関する条例の一部改正について」、2月から3月にかけて田植え準備に係るあぜの草払いの際、野焼きを行う場合が多いとのことであるので、火災予防のため届出方法など十分周知を行うよう要請した。

### 【農林課】

**災害の未然防止も！**

主師漁港の主師防波堤災害復旧に関し、当該箇所以外についても石積防波堤であることから新たな被害も懸念される。よって、十分な調査を実施し、対応するよう要望した。

### 【水産課】

# 文教厚生常任委員会

委員会開催日 12月14日  
(文責・浦 莊藏委員長)

過を見た後事業の見直しを行うよう要請した。

### 【生涯学習課】

平成22年4月予定の北部及び中南部学校給食共同調理場の民間委託業務は調理及び配送部門とし、安全・安心・実績・責任などを基準に選定する見込みとの答弁があった。

地元業者の参入についての問いには、食中毒事故等に対処できる衛生管理を重要視することから、現在、市内に実績ある業者が見当たらないとの答弁であった。

地元の人によって生み出される学校給食は、農水産物の消費拡大、地産地消、雇用確保、地域経済の活性化を網羅するものと考え、これらを踏まえた委託契約と、並行して情報開示と受託可能な市内業者や団体の調査・検討、さらに将来に向け地域に密着した本市独自の学校給食形態の可能性を探り、地元育成に鋭意努力するよう要望した。

### 【教委庶務課】



▲ふれあいセンターの浴室

### 補助の目的は？

生ごみ処理機購入補助については、申請者の分別意識調査や購入後の稼働状況追跡等の実態把握がされていないとの指摘があった。

本委員会は、事業の実施目的と方向性を明確にし、クリ

ふれあいセンターの入浴施設については、昨年11月から今後のあり方について協議を重ね、地元要望に配慮しつつ開館時間の短縮と利用料金の増額改定により運営の改善を図るとの説明があった。

維持管理費や行政サービスの公平性を考えたとき、抜本的な改善は難しいものと推察されることから、今後、十分な情報提供と運営状況の周知を図るようにし、状況によって閉鎖を含めた検討を迫る

厳しい意見が出され、数年経

**建設課**

### 【建設課】

「道路の路線廃止について」、「道路の路線認定について」は現地並びに資料で確認を行った。新旧西の久保1号線については、観光面はもとより地域の生活道路としても安全で安心して通行できるように整備し、横断歩道設置等の問題については関係者と十分協議するよう要望した。

### 【農林課】

「指定管理者の指定について(大島地区活性化センター)」については、指定管理者として2自治会の連名になっているが、本来は1名が好ましいと考えられる。法的問題はないとの答弁であったが、地域の実情を勘案しつつも、次回更新の際は検討課題とするよう申し入れを行った。



▲新旧西の久保1号線について説明を受ける委員

**夢ロマン振興券の検証を！**

「夢ロマン振興券」に続く商業活性化策を打ち出す際、動向調査の結果が基礎データとして参考になるものであることから、十分な精査を行うよう要請した。

### 【観光商工課】

**検討課題として！**

「指定管理者の指定について(大島地区活性化センター)」

については、指定管理者として2自治会の連名になっているが、本来は1名が好ましいと考えられる。法的問題はないとの答弁であったが、地域の実情を勘案しつつも、次回更新の際は検討課題とするよう申し入れを行った。

**利便性と安全性のために！**

「道路の路線廃止について」、「道路の路線認定について」は現地並びに資料で確認を行った。新旧西の久保1号線については、観光面はもとより地域の生活道路としても安全で安心して通行できるように整備し、横断歩道設置等の問題については関係者と十分協議するよう要望した。

### 【建設課】

新産業の創造と雇用対策は



浦 莊藏議員

「コンクリートから人へ」といった考えの中で、新産業の創造と雇用対策は喫緊の課題である。毎年7〜800名の人口が減る中で若者が残れる環境づくりをやらなければ将来危機的な状況になる。

【市長】地場産業の振興と雇用対策をトップに公的支援による事業の拡大、トップセールスによる観光戦略、換金性を高めるべく農水産物特産品の流通態勢の整備、観光周遊ルートの整備等により雇用確保につなげていく。

【市長】松浦火力発電所において石炭の使用を減らすべく木質ペレットを混ぜ混焼する事業が始まるが、本市において木質ペレット工場が設立できない

か積極的に関わるべきではないか。

【農林課長】ペレットについては、宮崎県より輸送すると聞いている。県や関係機関とも連携してできる限りの対応を取りたい。

【市長】老齢化が進み、介護を必要とするご老人の受入施設が少ない実態は。

【保険福祉課長】22年度より23年度までに6カ所の施設整備を実施するも、依然200名余の待機者が予測される。

【市長】県議時代に両大橋の無料化をお願いし、ようやく実施される見通しとなった。交流人口を増大させ、受け入れ態勢の充実を図ることで観光をはじめとする各種産業の振興の活性化につながり、税源涵養が図られると期待する。

【市長】市長は一般職と違って、有権者である市民に対し自らの政策を公開し、民主的手続きである選挙で選ばれる。従って常に市民の現場の声に耳を傾け、移り変わる時代の変遷に対応し、市民の幸福実現と地域活性化に全力を傾けていかなければならない。

【副市長】副市長は市長を補佐し、市長の命を受けて政策及び立案を司るとともに、職員に担任する事務を監督するということが職務である。特別職にある副市長としては市民や職員に誤解を招くような行動は行わなければならない。地位を利用しての選挙運動を行うことはできない。

【教育長】教育委員や社会教育委員の身分は非常勤の特別職の地方公務員である。よって、公務員等の地位利用による選挙運動等は禁止されている。

【市長】私も県議の折、訴えてきた。上げる方向で検討する。

これら待機者を受け入れる施設を整備することによって年間6億1千900万の事業が創出され、100人の雇用が生まれる。市の負担額は11・25%である。積極的に取り組んでいただきたい。

【保険福祉課長】将来的な保険料の負担を勘案しながら次期計画で対応したい。

【市長】国土調査事業拡大による雇用確保について、現在5千500万で18名が雇用されている。20〜30年で完結させるためにも10倍の5億5千万に事業拡大を行い、これにより180名の雇用が生まれる。市の負担は5%である。市長の考えは

【市長】本市にとつて必要な事業であり、速やかな取り組みを認識している。

【市長】公共事業入札の最低制限価格85%は、事業が少ないうちに中絶する実態である。県並みに引き上げるべきでないか。

【市長】私も県議の折、訴えてきた。上げる方向で検討する。

平戸・生月大橋の通行料金の無料化と財源確保について



宮本 利男議員

平戸・生月大橋の通行料金は平成22年4月1日より無料化になる。無料化された後に、早い機会に市民の同意を条件に、総務省に通行新税を導

入できるよう申請すれば、許認可は可能ではないかとの指導を私は受けている。そうしたとき両大橋から100円ずつ徴収した場合、私の試算では4億円以上の収益になると見ている。この特定財源をもとに平戸の基幹産業である観光を中心とした第一次産業の農業、漁業の振興はもちろん、福祉・教育分野の市独自の施策及び雇用の確保を図

【市長】選挙に際し、どうしても応援したいのであれば、職を辞し、その後に選挙運動をすればいいと考えるが、新市長、副市長、教育長の考えは。

【市長】市長は市長を補佐し、市長の命を受けて政策及び立案を司るとともに、職員に担任する事務を監督するということが職務である。特別職にある副市長としては市民や職員に誤

解を招くような行動は行わなければならない。地位を利用しての選挙運動を行うことはできない。

地域の歴史と価値観、持続可能性を踏まえた合併調整を



近藤 芳人議員

道路新設事業が不均衡である。昨年度が平戸11、田平5、大島3、生月0、本年度は平戸11、田平3、大島4、生月0。

【建設課長】道路事業は各支所で要望整理→施工

年度検討→計画計上→本庁で全体の調整を行っている。平戸地区では各行政区長を通じた直接の要望、陳情が主流。

【市長】新市になれば同じ市の住民であるから、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】新市になれば同じ市の住民であるから、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

【市長】地域独自の慰霊祭の意義を十分理解し、

限界集落化させないまちづくりの工夫



川上 茂次議員

過疎化は「人の空洞化」から「土地の空洞化」を生み、「村の空洞化」に残った人々の村に住む誇りまで失わせて「誇りの空洞化」となり、「限界集落」と呼ぶ社会問題となった。村を元気にするに

【市長】集落の人口減少と高齢化の進行による集

【市長】集落の人口減少と高齢化の進行による集

【市長】集落の人口減少と高齢化の進行による集

【市長】集落の人口減少と高齢化の進行による集

### 新市政に「建設的野党」の立場で臨む 平戸・生月大橋の職員・パートの雇用について 特別職の退職金、子供の医療費助成について



山崎 一洋議員

**問** 日本共産党は平戸大橋と生月大橋の無料化を主張してきた。しかし、職員・パート51人の雇用は守らなければならぬ。平戸市長には雇用を守

**答** 責任がある。特に黒田市長は繰り返し「私が無料にした」と言ってきた。市長が先頭に立ち、雇用確保のための努力を。

**問** 職員が何人も傍聴に来ていて。市長に直接会って実情を伝えたい、と願っている。会って自身の耳で聞くべき。

**問** 5人の特別職は2年・4年おきに退職金を受け取る。4年おきに市長は1千700万円、副市長は840万円など。鹿児島県大口市では半額に北九州市では廃止。廃止は8県3政令市など。退職金の見直しを。

**答** 同様に給料月額に在職期間・支給率を乗じて算定。給料

**問** 子供の医療費助成制度。中学卒業までが対象の市。区町村は、通院が235自治体入院が390。群馬県では中学卒業まで完全無料。窓口でも無料。松浦市は来年度から中学卒業まで充実させる計画。1千700万円、松浦市の年間予算の0・1%でできる。松浦市では2つの願いを込めている。①子育て中の世帯の暮らしを助ける②次々に若者が市外に転居。ひとりでも多く残ってほしい、と。

**答** 福祉事務所試算を頼んだ。平戸でも、およそ2千640万円が可能なこと。今年度予算のわずか0・12%。中学卒業まで助成の充実を。

### 黒田市長の市勢振興への思い 志々伎から宮ノ浦の県道平戸田平線の改良について 田平港シーサイドエリア再構築事業について



小川 隆友議員

**問** 合併後4年が経過し、合併協議の中で求められた課題や市民の期待に適切に対応できているかと考えると、課題

は山積しているやに思う。黒田市長は平戸維新を掲げて市長に当選された。市長の市勢振興への思いについて質問する。

**答** 国に誇れる観光経済都市の構築「日本の公園・ひろと」の再生を目指し、キーワードとして、歴史・恵み・祈りをテーマにし

**問** 平戸の現状は、道路や水田などの整備が必要である。特に志々伎から宮ノ浦の県道平戸田平線の改良を進め、野子地域の発展と、生活環境の維持保全に努めるべきである。

**答** 田平港シーサイドエリア再構築事業は農業者、水産業者、商工業者が一堂に集う交流拠点の集客施設をよりどころに、地域の活性化で活力あるまちづくりを目指す交流拠点施設と考えている。合併協議の合意事項でもある。交流拠点の集客施設を建設していただくよう

**問** 田平港シーサイドエリア再構築事業は農業者、水産業者、商工業者が一堂に集う交流拠点の集客施設をよりどころに、地域の活性化で活力あるまちづくりを目指す交流拠点施設と考えている。合併協議の合意事項でもある。交流拠点の集客施設を建設していただくよう

**答** 強く市長に要請する。

**問** 田平港シーサイドエリア再構築事業は、国の地域再生計画の認定を受けて、県営田平港湾整備事業により確保された岸壁後背地を活用した田平港周辺地域の再開発事業として平成17年度から広場、公園、駐車場の整備を行っている。田平港は交通の要衝であり、地域の活性化策を含めた施設整備の可能性について基本調査を今年度実施する。

**答** 過疎離島地域における地域めぐりあい事業を活用し、結婚対策事業を推進したい。現在、意識調査中であり平成22年度にはイベントを実施したい。

### 教育行政について 農林行政について 結婚対策について



山田 能新議員

**問** 少子化によって児童・生徒数が激減している。本市においても同様に児童数が減少し小学校の統廃合が与儀なくされている。そこで統廃合につ

いて保護者や地区民に十分な説明がなされているのか。また、統廃合によって健全育成会の補助金が減額されるのではないかとその声も聞かれるがその点はどう取り扱われるのか。

**答** 【教委庶務課長】スクールバス利用の件で説明不足が生じたことがあった。今後全ての項目において説明不足がないようにする。健全育成会の補助金については統廃合後もこれまで同様に活動に支障がないように取り扱う。

**問** 農業振興においてハウスの施設のリース制度は大変重要な施策であると思う。この制度はU・イーターナーや高齢者が施設園芸に取り組みやすい制度であるが市の考えはどうなのか。次にイノシシの被害が依然として後を絶たない。更に児童・生徒の通学時の危険性が深刻な地域もある。市としてのイノシシ被害対策は今後どう進めるのか。

**答** 【市長】ハウス施設のリース制度は今後の農地の活用や新規就農者の支援という

観点から大変関心高く受け止めている。今後ハウス建設の導入について検討をする。次にイノシシの被害対策についてはできるだけ多くの人に特区免許を取って頂く支援を行う。また、県外からの猟友会の支援も頂きながら被害撲滅に向けた取り組みを行う。

**問** 農業・漁業の後継者花嫁不足は大変深刻である。それに対する取り組みは。  
**答** 【市長】県議時代から長崎めぐりあい事業等に取り組んできた。本市においても



### 新市長の政治姿勢を問う ローカルマニフェストの具現化に向けて



田島 輝美議員

**問** 今回の選挙の旗印に掲げた平戸維新の言葉の意味は。

**答** 【市長】中央集権化が見直され地方の時代と言わ

れながら、なお予算確保、陳情政治等がはびこっている。都会にしかチャンスがないという意識を変え、田舎ならではの特性、優位性を再発見していこう。その他様々な意識改革を前提にしている。

**問** 意識改革でもってこの現状の本市をどのように導きたいのか、今一度。

**答** 【市長】内部での足の引っ張り合いでなく、一つ

にまとまっていく意味で明治維新になぞらえた。

**問** 今回、マニフェストに掲げた市長公室の機能と特命事項について。  
**答** 【市長】政策調整機能の強化、市民の皆さんを初めとする各方面の要望等や、行政課題を私が判断し優先的にやるべきものを命じ、具体的な作業を進めていく。そのための特命という位置づけである。

**問** 機構改革の中で課制を部制とあるが、その必要性と時期について。

**答** 【市長】現在の課制では一見市民に分かりにくい。取り組む事業が多岐にわたり総合的に把握していく担当者が必要である。課の統合ができるものもある。市長公室を設置した後、調整を図りながらやる方向で取り組みたい。理想では新年度からスタートしたいと考えている。

**問** 行政改革の面からも、本市に部制が必要なのかをもう少し時間をかけて議論すべきであると思ふ。一方、早急に取り組まなければならない

**答** 【市長】マニフェストの検証大会を行うことを約束している。

体験型修学旅行事業について  
旧マリリンピア跡地の再利用について



川淵 洋海議員

交流型の修学旅行生受け入れが本市でも活発に行われている。本市の体験型修学旅行事業への評価について。

【市長】体験型観光を推進することで、減少している観光客の誘客を図るためにも必要な施策であり、高く評価しているし、強く認識している。

【市長】体験型観光の必要性を認識するならば、松浦党交流公社への職員の派遣は考えられないか。

【市長】報酬カットについては、手当及び共済費を含め、平成19年度から21年度の3年間で2千127万円を生き活きまちづくり基金に積み立てを行い、地域のコミュニティ推進と協働のまちづくりの創出を図っている。議員削減によって、今後1年当たり2千300万円の経費が不要になるので、市民生活向上のために有効に活用する。

【市長】報酬カットについては、手当及び共済費を含め、平成19年度から21年度の3年間で2千127万円を生き活きまちづくり基金に積み立てを行い、地域のコミュニティ推進と協働のまちづくりの創出を図っている。議員削減によって、今後1年当たり2千300万円の経費が不要になるので、市民生活向上のために有効に活用する。

【市長】生月地区のプロジェクトチームを立ち上げ、検討項目に当てはめられないか考えている。関係者のご意見を賜りながら検討に入りたいと思っている。



▲漁師体験の様子(10月22日、広島県尾道市立高西中学校)

行財政改革について



松崎 義昭議員

【市長】市長公室の所掌事務として、①秘書に関すること、②広報及び広聴に関すること、③重要施策の特命事項に関すること、④重要施策の

【市長】市長公室の所掌事務として、①秘書に関すること、②広報及び広聴に関すること、③重要施策の特命事項に関すること、④重要施策の

総合調整及び推進に関すること、⑤行政組織及び行政改革に関すること、⑥地域審議会及び地域自治体の総合調整に関することである。自治連合協議会、地域協議会、地域自治体の総合調整機能などを所管することによって、市民又は関係団体からの要望、陳情を一元化管理し、迅速に市政に反映する仕組みを整えたい。

形で予算化すべきと思うが。【市長】報酬カットについては、手当及び共済費を含め、平成19年度から21年度の3年間で2千127万円を生き活きまちづくり基金に積み立てを行い、地域のコミュニティ推進と協働のまちづくりの創出を図っている。議員削減によって、今後1年当たり2千300万円の経費が不要になるので、市民生活向上のために有効に活用する。

【市長】現在、整備を行っているが、整備後の活用策として、産地地域活性化基



▲深月漁港の流れごみの様子

産業振興と雇用対策について



大久保 堅太議員

【市長】将来ビジョンに全国に誇れる観光経済都市「日本の公園・ひろ」再生へ」

【市長】将来ビジョンに全国に誇れる観光経済都市「日本の公園・ひろ」再生へ」

若者の定住・定住人口の増加に不可欠な雇用の創出のための産業振興の現状・取り組み状況は、

【市長】報酬カットについては、手当及び共済費を含め、平成19年度から21年度の3年間で2千127万円を生き活きまちづくり基金に積み立てを行い、地域のコミュニティ推進と協働のまちづくりの創出を図っている。議員削減によって、今後1年当たり2千300万円の経費が不要になるので、市民生活向上のために有効に活用する。

【市長】現在、整備を行っているが、整備後の活用策として、産地地域活性化基

【市長】現在、整備を行っているが、整備後の活用策として、産地地域活性化基

議会傍聴に来ませんか!

本会議は原則として公開されています。どなたでも傍聴することができます。

傍聴席は本庁舎4階で、一般席が42席(記者席除く)あります。

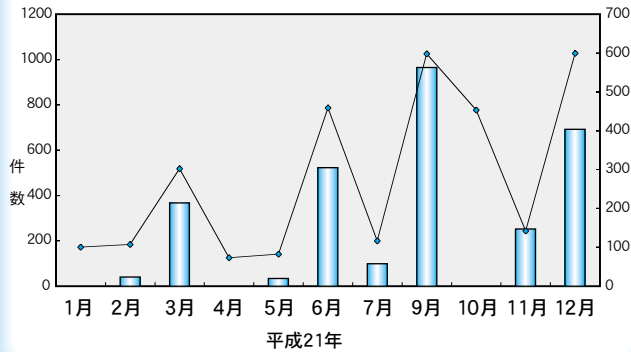
傍聴を希望される方は、当日、本庁舎4階の傍聴席入口に「傍聴受付簿」がありますので、住所、氏名、年齢を記入の上、ご入場ください。

あわせて、インターネット中継も行っています。こちらは「生中継」と「録画中継」の両方を見ることが出来ますので、議場になかなか来ることができない方など、どうぞご利用ください。

次回は3月の定例会が予定されています。詳しい日程は2月末にホームページ等でお知らせする予定です。



議会放映視聴件数



お詫びと訂正  
第19号(平成21年12月1日発行)4面の「西九州自動車道整備促進特別委員会」の記事の中で、平石委員長と伝えましたが、正しくは平石委員です。お詫びして訂正します。